

平成28年度小平市いきいき協働事業

「地域・家族の育児参加推進 & 子育てしやすい街づくり事業」

活動状況報告書



小平はぐくみプロジェクト

核家族化、転勤・転居、両親の高齢化など、さまざまな理由で、子育てをひとりで頑張る母親や、産後うつ・子どもの虐待などの悩みを抱える母親が増える現状を改善するために、地域・家族みんなが子育てに参加し、互いに助け合える仕組みづくりを目指し、本事業を行いました。

【講座事業】

産前産後の女性の心身の変化、産後うつの現状、心身のサポートの大切さを啓発し、夫婦のパートナーシップや孫育てなど、産後の女性を支えるための知識を学ぶ講座を全4回開催しました。

1. 第1回 産前産後ご夫婦向け講座

「夫婦で父親学級 ～ときめき産前産後ライフを手に入れよう～」

- 開催日時：6月12日（日）午前9時45分～11時45分（開場9時30分）
- 会場：小平市中央公民館 和室けやき
- 参加費：無料
- 対象：妊娠中～子育て中のご夫婦
- 講師：株式会社アイナロハ 代表取締役 渡辺大地氏
- 内容：産前産後の女性の心身の変化を知り、夫婦で子育てをスタートするためにできることを学びました。
- 参加人数：男性16人、女性23人、計39人
- 参加者の感想
 - ・夫婦のギャップを埋めるためのキッカケになった。既に一児の父ですが、まだまだ妻のためにできることがたくさんあるし、よく話し合わなければと思った。
 - ・産後の母親の状態を分かりやすく伝えてもらって、勉強になりました。
 - ・はじめての参加でしたので、他のお父さんとの考え方の違いがあったり、妻の求めていることとのギャップも感じられて良かった。
 - ・話を聞いて、自分自身の認識と、パートナーの認識に違いがあることを分かっているようで分かっていなかったと感じました。
 - ・父親学級というと、沐浴のしかた、ミルクの作り方etc...、マインドの講座がとても少ないので、本日の講座は本当に楽しく勉強になった。夫にも積極的に育児に関心を持ってもらえたのではと思います。
 - ・夫婦の絆が深まって良かった。
 - ・男性講師だったので、夫も聞きやすかったと思う。
 - ・今回の講座は本当に良かったです。父親の意識改革をすすめてくれるような内容をこれらかも期待します。
 - ・ただ話を聞いているだけでなく、まわりの方と意見交換などもできて良かった。



2. 第2回産前産後ご夫婦向け講座 「行動学で夫婦のハッピーコミュニケーション」 ～家事シェアの極意はコミュニケーションにあり～

- 開催日時：6月26日(日) 午前9時45分～11時45分（開場9時30分）
- 会場：小平市中央公民館 和室けやき
- 参加費：無料
- 対象：妊娠中～子育て中のご夫婦
- 講師：NPO法人tadaima! 代表理事 三木智有氏
- 内容：ソーシャルスタイルという行動学で夫婦のタイプ診断を行い、家事シェアをより円滑に行うことで、夫婦のコミュニケーション力を高めあいました。
- 参加人数：男性20人、女性21人、計41人
- 参加者の感想

・家族とのコミュニケーションの重大さ、大切さを とても分かりやすく、事例を交えて説明いただいた点が良かったと思います。

・夫のタイプが分かり、とても納得しました。どうして、すぐに返事をくれないのか？とイライラしていたのが解消しそうです。

・ソーシャルスタイル診断が、家のことだけに限らず、仕事にも参考になりました。

・奥さんのタイプをみて、推奨される付き合い方が、まるっきり奥さんに、してほしいと言われている内容でした。

・夫婦で来て、お互いの特徴が再確認できて良かったです。コミュニケーションの取り方を工夫して、いい関係を作っていきたいです。

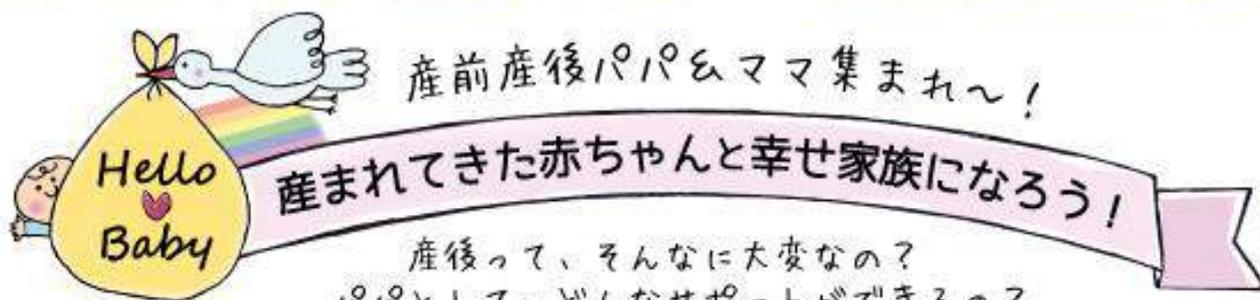
・同じような子育て環境にある方々が、このような講座を通して知り合いとなり、交流を深めることで悩みを共有し、一人で悩みを抱えるのではなく、みんなで子育てを楽しむ環境が生まれるので、このような取り組みを継続して行っていただきたいと思います。

・講師が男性だと男性目線の話しが聞けて、おもしろいです。「どうやって分担させるか」という話しかな？とっていたので、とってもためになりました。またお話しを聞きたいです。今日こられて良かったです。



平成 28 年度小平市いきいき協働事業「地域・家族の育児参加推進&子育てしやすい街づくり事業」

地域・家族みんなが子育てに参加し、互いに助け合える仕組みづくりを目指し、夫婦のパートナーシップや子育てなど、産後の女性を支えるための知識を学びます。第1・2回は、産前産後のご夫婦向けの講座を開催します。
※参加者には、市内の協力店で子育て応援サービスが受けられる「こだはぐ子育て応援カード」を配布します。



産後って、そんなに大変なの？
パパとして、どんなサポートができるの？

産前産後のサポートの
エキスパートで、
メディアでもひっぱりだこの
二人の男性講師による、
パパ&ママのための
講座です。



出産前に
知っておきたいことや、
夫婦で生き活きと
子育てをするための
秘訣が満載ですよ。

第1回
6月
12日
日曜日

夫婦で父親学級 〜ときめき産前産後ライフを手に入れよう〜

産前産後の女性の心身の変化を知り、夫婦で子育てをスタートするためにできることを学びます。
【講師】渡辺大地さん（株アイナロハ代表取締役）

第2回
6月
26日
日曜日

行動学で夫婦のハッピーコミュニケーション 〜家事シェアの極意はコミュニケーションにあり〜

ソーシャルスタイルという行動学で夫婦のタイプ診断を行い、家事シェアをより円滑に行うことで、夫婦のコミュニケーション力を高めます。
【講師】三木智有さん（NPO法人 tadaima! 代表理事）

【開催時間】午前9時45分～11時45分（午前9時30分開場）【会場】小平市中央公民館 地下1階 和室（けやき）

【参加費】無料 【対象】妊娠中～子育て中のご夫婦

【定員】各回30組（※申込み多数の場合は抽選。市内在住者、両日参加者優先。5月31日締切。）

保育あり 保育定員：15名、保育費：無料、保育会場：保育室、保育対象：1歳～3歳児（未就園児）※1歳未満のお子さんは同伴可。

【参加&保育申込】 申込フォーム <https://ssl.form-mailer.jp/fms/e846d2c5429565> 受付開始5/5より。電話も可。

共催：小平市、小平はぐくみプロジェクト（こだはぐ）

問合せ：小平はぐくみプロジェクト contact@kodahug.com ☎090-5526-2944（橋本） <http://kodahug.com/>



～ 講師プロフィール ～

第1回

渡辺大地さん (株) アイナロハ代表取締役



アイナロハの「父親学級」では、沐浴の練習やオムツ替えなどのレクチャーはしません。どれだけ「奥様」の気持ちに寄り添って、夫婦で育児をスタートさせられるかを真剣に考えることに重点を置いているからです。産後の女性のからだや心の痛み、そして、女性が言葉にしないで我慢している憂鬱や焦りや孤独感を理解することです。受講者のクラス後の感想は「楽しかった～」や「勉強になった～」ではなく、「早く父親になりたい!」「妻にありがとうを伝えたい!」という希望や感謝にあふれたものばかり。「夫婦で育児をスタートさせる!」これが、アイナロハの「父親学級」のコンセプトです。

渡辺さんのお仕事

父親学級、ダイバーシティ研修、性教育講座、産前産後サポート、病児の家事育児サポート、出張託児サポート

著者

『産後が始まった!』、『お産とオッサン。-SANGO ON FIRE!-』、『産後手帳』シリーズなど。

メディア掲載歴

『平成 25 年版 厚生労働白書』、NHK ニュース「おはよう日本」、TBS「みのもんたの朝ズバッ!」「あさチャン」、読売新聞、朝日新聞、日経新聞、共同通信、東京新聞、毎日新聞、「AERA with baby」、たまごクラス、「赤ずく」、「助産雑誌」、東京新聞・中日新聞「オトコの母親学級」2014.10～連載。



第2回

三木智有さん NPO 法人 tadaima! 代表理事



男だって本当はもっと家庭に携わりたい。家事に育児に、大変な思いをしている妻と一緒に暮らして楽にしていきたい。だけど、仕事が忙しい。家事は苦手。一生懸命手伝ってみたら、かえってイライラさせてしまった。実は、男性も仕事と家庭の両立に悩んでいるのです。NPO 法人 tadaima! では、家事シェアを通してバクバクに家事の大切さや楽しさを、ママには家事や育児をひとりで抱え込まないようにするキッカケづくりを。そして、ご夫婦には家事を通じたコミュニケーションの取り方を伝えています。自治体の講座として、企業の研修として、多くの方々にご利用頂いています。

三木さんのお仕事

家事シェアプロモーション事業（家事を分担から共有へ。意識改革の情報配信・広報活動）、おうち準備バック事業（家族の問題を解決へ専らコンサルティングサービス）、家事サポ事業

著者

『家事シェア白書～夫婦の家事を家族事にする』、『家事シェアのススメ～』

メディア掲載歴

NHK あさイチ! HAPPY 家事シェアライフ、おしゃほん子育て応援部 山陰放送、スレジデント 2014 1.13 号、9 月 21 日 読売新聞朝刊、赤ちゃん和妈妈 9 月号、ソトコト 3 月号 NPO 特集。



3. 第3回 孫育て講座

「イマドキの子育て・孫育て ～何が変わった？変わらない？～」

●開催日時：11月6日(日) 午後1時30分～3時20分（開場1時）

●会場：小平市福社会館 第一集会室

●参加費：無料

●対象：お孫さんがいる方、子育てに関心のある方

●講師：NPO法人 孫育て・ニッポン 理事長 棒田明子氏

●内容：子育てには、母親、父親はもちろん、祖父母、そして地域の方々のサポートが必要です。今どきの子育て事情を知り、子育て家族をサポートする「祖父母力」を高め合いました。

●参加人数：男性7人、女性23人、計30人

●参加者の感想

・孫の夢の最強の応援団でいること、心がけていたことですが、改めて伺いますと、大変印象深く心に留まりました。

・父母の役割りまで入りすぎていた…反省！

・孫に甘くなりすぎはよくないのかと思っていましたが、“心のオアシス”になるような接し方を心にとめて、しつけは、パパとママの方針に寄り添い、優しい祖母になりたいと思います。

・最近の子育ての難しさが、今さらながらよくわかりました。外遊びが難しいこと、他人の目、気候など。

・親がしていないことは、子どもがすることは出来ない。親の背中、頑張る姿、楽しむ姿を見せていきたいです。

・じじばばの存在意味、かみしめました。ありがとうございました。

・棒田先生の人柄が伝わる楽しい講座でした。世の中の子どもたちが、みなスクスクと育つために必要な事柄やヒントが盛りだくさんで良かったと思います。ありがとうございました。

・講師の方のこれまでの経験etcから出てくる言葉、お話しに大変、納得させられました。自分でも十分わかっていることだったように思っていたことも、よく整理して話して下さったことで、“そう、そう”と気が付くことがたくさんありました。参加できて良かったです。

・家族はもちろん、地域でも多くの関わりを勇気をもって、声をかけていこうと思います。

「孫が生まれて、うれしかったこと」を付せんに書いていただきました。

- ・生まれてきたこと、それだけで嬉しかった。
- ・産まれた時、天使のように思えた。
- ・まず五体満足、元気に産まれて感動。
- ・寝顔を見ているだけで幸せな気持ちに。
- ・とてもかわいい。一緒に出かけるようになり、学校のことなどの生活面の話しなど聞いているだけで楽しい。
- ・孫の笑顔で自分も救われる。改めて妻の苦勞、両親の努力に感謝できた。孫の成長に生きることの大切さを学ぶ。
- ・とにかくかわいかった。小さい手、小さい口etc。自分の子の時は、ゆっくり味わえなかったことを嬉しく、楽しく、成長を見守っている。





平成28年度 小平市いきいき協働事業
「地域・家族の育児参加推進 & 子育てしやすい街づくり事業」

イマドキの子育て・孫育て ～何が変わった？変わらない？～

子育てには、母親、父親はもちろん、祖父母、そして地域の方々のサポートが必要です。
今どきの子育て事情を知り、子育て家族をサポートする「祖父母力」を高めませんか。



とき 11月6日(日)午後1時30分～3時20分(1時開場)
ところ 小平市福社会館 第一集会室(3階)

定員: 50名(先着順) 参加費: 無料
対象: お孫さんがいる方、子育てに関心のある方
講師: NPO法人 孫育て・ニッポン 理事長 棒田明子氏

■参加申込方法■

①～③のいずれかから10月31日(月)までにお申込みください。

① 裏面の「参加申込書」にご記入の上、
FAX **042-345-1773**

② お電話 **090-5526-2944** (橋本)

③ WEB 申込フォーム
こだはくHPからも
お申込みできます
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/59905791461425>



棒田明子氏

NPO法人ファザーリング・ジャパン理事。産後ママのサポートを3週間から3カ月に延ばす「3・3産後サポートプロジェクト」リーダー。「母親が一人で子育てを担うのではなく、家族、地域、社会で子どもを育てよう」をミッションに、全国にて講演、プロジェクトを行う。
【著書】『祖父母に孫をあずける賢い100の方法』(岩崎書店)、「ママとパパも喜ぶいまどきの幸せ孫育て」(家の光出版)など。

共催: 小平市、小平はぐくみプロジェクト
問合せ: 小平はぐくみプロジェクト contact@kodahug.com ☎090-5526-2944 (橋本) ☑<http://kodahug.com/>



FAX送信先

042-345-1773

イマドキの子育て・孫育て～何が変わった？変わらない？～
参加申込書

以下にご記入の上、FAXにて送信してください。

ふりがな	
お名前	
参加人数	名
おところ	町名までで結構です。 例) 小平市小川町
電話番号	

※ 個人情報は、「個人情報保護法」に基づいて取り扱い、本講座のみに使用いたします。



FAX送信先

042-345-1773



こだはぐは、「産前産後ママの心と体を癒したい。支えとなり、助け合う仕組みを作りたい。」という想いで、2013年11月に発足した市民活動団体です。
「はぐくみ」という言葉には、「育む」と「Hug」（抱擁）の2つの意味を込めました。

4. 第4回 母親学級「これだけは知っておきたい産前・産後のお話し」

●開催日時：12月7日(水) 午前10時～11時45分（開場9時45分）

●会場：小平市中央公民館 和室けやき

●参加費：無料

●対象：妊娠中～3歳のお子さんを子育て中の母親

●講師：一般社団法人産後ドゥーラ協会認定 産後ドゥーラ 上高原久枝氏

●内容：産前産後の心と体の変化や産後6週間までの過ごし方、上の子への接し方などを、産後ケアの専門家から学びました。

●参加人数：21人

●参加者の感想

・産前に聞けたらいいなと思う内容が多くありました。二人目のお子さんをもつお母さんたちとのお話もいい経験でした。

・長女を出産後、メンタルが不安定になったことを思い出し、(今回の)出産前に家族にそのことを伝えたいと思いました。

・イライラやボーっとが、ホルモンの関係であったり、必要だということが分かり安心しました。ただそのことが、やはり周りの人にもっと知ってもらう必要があると思いました。

・2人目妊娠で、産後はやっぱりホルモンの影響で、1人目の時、不安だったんだと再確認し、また産後そうなる前に回りへうまく伝えておくべきだと思いました。

・心と体はつながっているという言葉が印象的でした。胎盤が出てくると子宮がポロポロに傷つくし、それが心の不安定さにつながるという言葉がひびきました。

・里帰り中は、1人立ちできるための時間と思って、早くから頑張りすぎたこともありました。ゆったりとした時間を過ごすことが、こんなに大切ということを知ると、とても考え方をかえられました。

・お母さんは、良い子育てをするために、人に甘えて良いと聞いたことが楽になった。

・ドゥーラの活動についても知れてよかったです。多くの方が子育てに関わってもらえる社会になるといいと思います。



母親学級

これだけは知っておきたい 産前・産後の話

産前産後の心と体の変化や
産後6週間までの過ごし方、
上の子への接し方などを、
産後ケアの専門家から学びます。



◆とき◆12月7日(水)
午前10時～11時45分(9時45分開場)
◆ところ◆中央公民館 和室けやき

参加費◆無料

対象◆妊娠中～3歳のお子さんを子育て中の母親

定員◆50名(先着順)

講師◆上高原 久枝氏

(一般社団法人 産後ドゥーラ協会認定 産後ドゥーラ)

保育

定員：15名 費用：無料

会場：保育室

対象：1歳～3歳児

※1歳未満のお子さんは同伴可



上高原 久枝氏 プロフィール

看護師。一般社団法人産後ドゥーラ協会認定 産後ドゥーラ。小児保健専門講師。小児病棟に6年間勤務。保健職員として保育園に30年以上勤務。娘の出産を機に、産前産後の大切さ、大変さを痛感し、産後ドゥーラになりました。母親や祖母のような気持ちで、日々心を込めてサポートしています。

参加申込：11月5日より、参加申込フォーム
(<https://ssl.form-mailer.jp/fms/24e1f887469070>)



共催：小平市、小平はぐくみプロジェクト

問合せ：小平はぐくみプロジェクト ■contact@kodahug.com ☎090-5526-2944 (橋本) 🌐http://kodahug.com/

小平はぐくみ
Kodaira hagukumi project

こだはぐは、「産前産後ママの心と体を癒したい。支えとなり、助け合う仕組みを作りたい。」という想いで、2013年11月に発足した市民活動団体です。

「はぐくみ」という言葉には、「育む」と「Hug」（抱擁）の2つの意味を込めました。

【子育て応援カード事業】

子育て世帯が孤立しないように地域との関わりを促すことや、子育てを応援するまちづくりをすることなどを目的として、子育て世帯が小平市内の協賛団体・店舗において、割引などの特典を受けられる、「こだはぐ子育て応援カード」を発行しました。

●目的

- ・子育てしやすいまちづくり
- ・コミュニケーションが生まれるまちづくり
- ・子育て支援の温かいネットワークづくり

●応援カード利用対象と配布枚数

小平市内に在住、在園の妊娠中～6歳（未就学児）までのお子さまのいるご家庭、約18,000世帯に配布。

●応援カード配布先

- ・公立認可保育園 ・私立認可保育園 ・認定こども園 ・私立幼稚園
- ・母子手帳配布時に同封 ・乳幼児健診時に配布（3か月、1歳半、3歳）
- ・小平市役所 下記の各課窓口
《子ども家庭部》子育て支援課、保育課
《健康福祉部》健康推進課（健康センター）
- ・中野産婦人科医院
- ・協力団体・店舗
- ・こだはぐカフェ（鈴木公民館で毎月第3火曜に開催される広場）

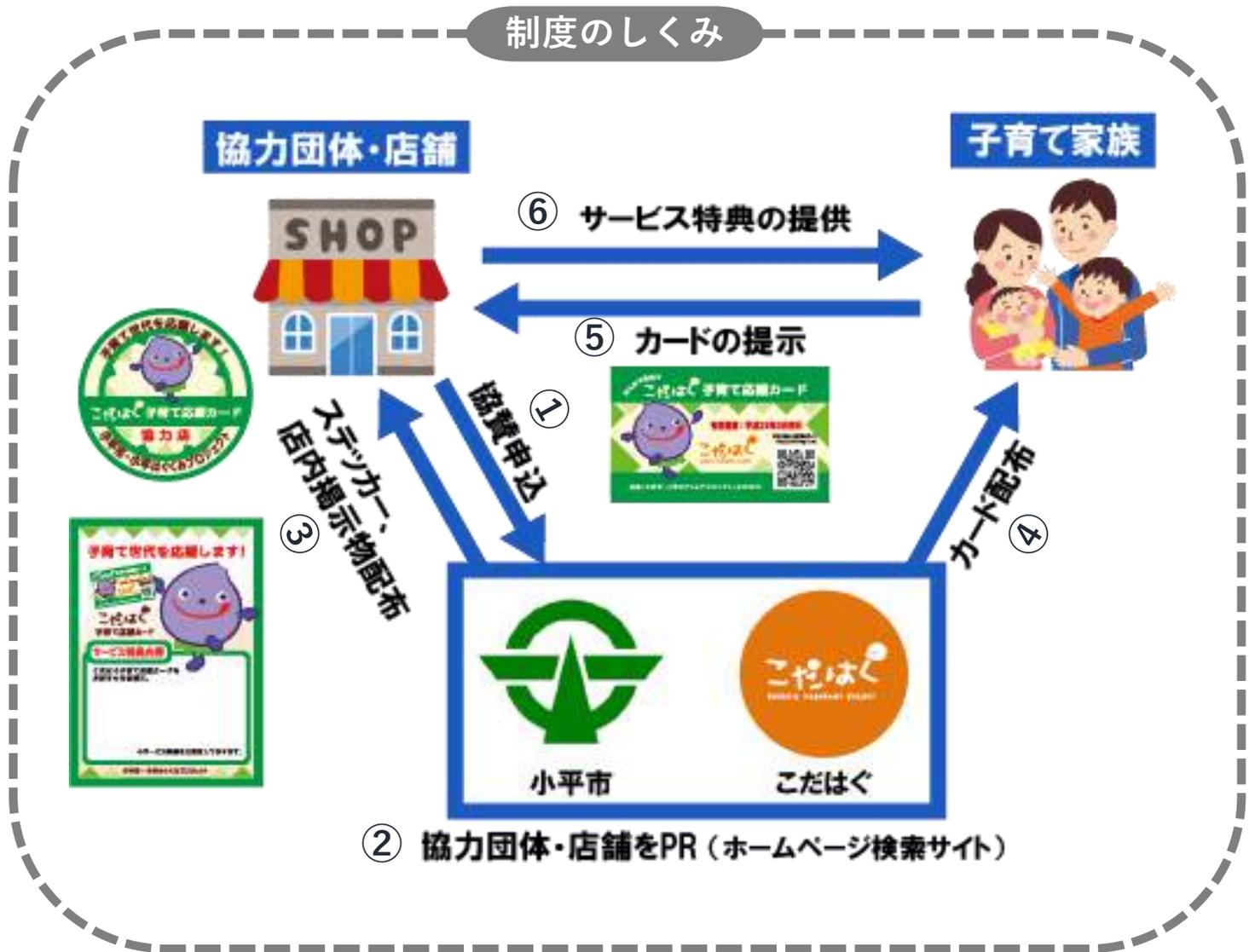
●利用期間

平成28年6月下旬～平成29年3月末まで

●協力団体・店舗数

126軒（新規登録数 74軒）

制度のしくみ



①協賛お申込

②協力団体・店舗をPR (ホームページに事業者のページを作成)

③ステッカー、店内掲示用ポスター (B5サイズ) をお届け、または郵送

④利用者にカード配布

⑤カードを掲示して利用

⑥サービス特典をご提供



小平はぐくみプロジェクト-こたはぐ
小平発！産前・産後ファミリーいきまライフ応援サイト

“こたはぐ”とは | [こたはぐ子育て応援券協力団体・店舗一覧](#) | [こたはぐカフェ](#) | [イベントカレンダー](#) | [こたはぐ子育て応援カードとは](#)
[ブログ](#) | [お問合せ](#)

News!! 2015年10月6日 in 食料・飲料品: ミートショップいのうえ

Home > [こたはぐ子育て応援券協力団体・店舗一覧](#) > [趣味・習い事](#) > [ハッピーコンピューティング](#)

ハッピーコンピューティング

プログラミングスクール、パソコン教室

Like 15 | ツイート | G+ 2



団体・店舗名	ハッピーコンピューティング
子育て応援券特典	主婦向けクラス受講料を1回受講につき500円引きします ※複数回利用可能
住所	小平市学園東町3-12-6 第5シノダビル3階
電話	042-313-5160
定休日	日、月、木、土
URL	http://happycomouting.jp
E-MAIL	contact@happycomouting.jp
メッセージ	子連れOKのパソコン教室です。広くてきれいな教室で、自由にパソコンを学びませんか？

お店の情報を検索する！

こたはぐブログ更新中！

近付いてまいりました！2016年6月5日
 第2回総会 & スタッフ撮影会 2016年6月5日
 第2回 アメプロカスタマイズ講座 2016年6月5日
 H28年度 こたはぐ子育て応援カード協力団体・店舗募集スタートです！2016年6月2日
 「こたはぐ実るマップ」にこたはぐページが完成！2016年5月28日

こたはぐのFacebookはこちら！

小平はぐくみプロジェクト...
 Like Page 361 likes
 Be the first of your friends to like this

マスコミ掲載記事

- 2016年1月22日：読売新聞に掲載されました
- 「あすびあ通信」9月号に掲載されました
- 2014年9月3日：タウン通信に掲載されました
- 2014年8月20日号：小平市報に掲載されました

こたはぐ子育て応援券の登録を受付中です
事業者の皆様へ

こたはぐについて

小平はぐくみプロジェクトとは
 小平子育て応援券「Hug」
 イベントカレンダー
 お問い合わせ

こたはぐ子育て応援券について

こたはぐ子育て応援券とは
 こたはぐ子育て応援券協力団体・店舗一覧
 事業者の皆様へ

このサイトについて

プライバシーポリシー

リンク

小平市ホームページ

●こだはぐ子育て応援カード（カードサイズ）



表面



裏面

●屋外用ステッカー



●店内掲示用ポスター（B5サイズ）



●利用説明書（A5サイズ）

子育て世代を応援します！

嬉しいサービス特典がいっぱい！
カードを使って街を盛り上げましょう～♪



平成 28 年度 小平市いきいき協働事業
「地域・家族の育児参加推進 & 子育てしやすい街づくり事業」

子育て応援カード

「こだはく子育て応援カード」は、小平市内在住、在園の子育て世帯が協賛団体・店舗において、割引などのサービス特典を受けられるものです。

事業目的

- 子育てしやすい街づくり
- コミュニケーションがうまれる街づくり
- 子育て支援の温かいネットワークづくり

利用対象

市内在住の妊娠中～未就学児までのお子さまのいるご家庭

利用期間

平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月末

利用方法

応援カードを協力団体・店舗に提示して利用

※協力団体・店舗の詳細やサービス特典内容については、当ホームページをご覧ください。
随時、新規登録の更新情報を配信します。

▼協力団体・店舗検索
<http://kodahug.com>

▼28 年度 応援カード



▼28 年度 店舗用ステッカー



このステッカーが
貼ってある
お店を check!

こだはく

産前産後ファミリーの応援団

<http://kodahug.com>

contact@kodahug.com

共催：小平市・小平はぐくみプロジェクト

平成28年度小平市いきいき協働事業 「地域・家族の育児参加推進&子育てしやすい街づくり事業」

「小平はぐくみプロジェクト」の

子育て応援カード 協力団体・店舗 大募集

まちの
みんなで
子育て
支援！

子育て世代とつながるチャンス！

協力団体、店舗等において、割引などのサービス特典を受けられる「子育て応援カード」は、市内在住の子育て世代に、約18,000枚配布されます。

【参加手順】

1.ご提供いただけるサービス特典をご確認ください。

※ご提供いただくサービス特典は、可能な範囲で自由に設定していただけます。

【例】買い物代金8%引き、飲食代50円引き、おもちゃプレゼント、ポイント・ペリススタンプ2倍、イベント参加費100円引き、粉ミルク用のお湯の提供、手荷物の一時的預かり等、どんな小さな特典でもかまいません。

2.裏面のご登録フォームにご記入の上、FAXにてお申込みください。また、下記ホームページからもご登録いただけます。

<http://kodahug.com/forcompany>

3.こだはぐより送付した協力店のステッカーを店頭等に掲示してください。

4.応援カードを提示したお客様にサービス特典をご提供ください。

【実施期間】

平成28年6月下旬～平成29年3月末

【お問合せ】小平はぐくみプロジェクト

メール contact@kodahug.com

ホームページ <http://kodahug.com/>

電話 090-5526-2944(橋本)



協力団体・店舗のPRを しっかりサポート！

- こだはぐホームページにて、事業主さまのページを作成。特典内容などを掲載します。
- ご希望の方には、小平商工会の「こだいらネット」と連携し、PRをサポートします。
- 両親学級開催時、乳幼児健診、母子手帳配布時の他、市内全保育園・幼稚園児にカード配布。市内の妊娠中から未就学児のおさまがいるご家庭にお配りします。

共催：小平市・小平はぐくみプロジェクト(こだはぐ) 協力：小平商工会

こだはぐ
kodaira hagukumi project

小平はぐくみプロジェクト(こだはぐ)は、「産前産後ママの心と体を癒したい。支えとなり、助け合う仕組みを作りたい。」という想いで、2013年11月に発足した市民活動団体です。

●協力団体・店舗様向け利用調査アンケート結果（平成29年3月30日現在）

○利用調査期間：平成29年3月9日～3月30日

○回答数：84軒（126軒中）

○延べ利用回数：1760回（平均21回）

○一日平均利用数：約6.5回（平成28年6月末～平成29年3月末までの9か月間、270日として）

○ご感想・ご要望

〔効果を感じられた方〕

- ・徐々に浸透してきたように思います。小さなお子様連れのお客様が多くみられ、効果を感じます。
- ・たくさんの方に利用していただくことができ、嬉しかったです。カードのことを知らない方や、幼稚園でもらったけど使っていなかったという方が多かったので、こちらから積極的にお声かけしました。
- ・今年度より関わらせていただき、微力ながら地域に貢献できた事が嬉しかったです。
- ・子育て中の方が日々の暮らしの中で子育てを応援してもらえていると感じることのできる取り組みだと思います。また、この取り組みを通して様々な方が子育てを応援する意識づけができたことは意味があります。
- ・素晴らしい事業だと思います。地域との繋がりを持って良かったです。

〔効果を感じられなかった方〕

- ・今のところご利用の方はありません。当方、業種的になかなか利用は無いのかな？と思います。情報が行き渡って、もっと多くの方が利用されるといいなと思います。また協力店も増えるといいですね。
- ・当店で配布した常連さんのみの利用。当店のような、個人店には全く反響のない企画で、残念でした。
- ・幼稚園などでカードをもらっている方がたくさんいらっしゃいましたが、お声がけしないと利用しない方が多く感じられました。サークルで提示した特典が利用しにくかったのかもしれない。
- ・カードを掲示してくれた方にのみサービスを提供した。子連れでもカードを出さなかった人には特にこちらから声かけすることはしなかった。積極的に声かけするほどの余裕はなかった。
- ・今回も利用の方がいらっしゃいませんでした。私の方でも宣伝不足だったと思います。プロジェクトとしてとても共感していますので、今後も子育て世代に優しい情報をぜひお願いいたします。
- ・小平市の未就学児ママ数名に聞いてみたところ、なんか聞いたことはあるような…？という方が1名いらっしゃいましたが、どこでどんなふうに利用できるのかは知らないという事でした。素敵な活動だと思いますので、沢山のママに知って、利用してもらえるといいのになと思います。

〔ご要望・ご意見〕

- ・子育て世代向けに、各団体やお店の方が活動紹介やサービス特典などのPRを積極的にして、そちらをこだはぐの方でシェア、というような仕組みでお得情報がもっと子育て世代に届けば、利用推進になりそうですね。協力店にとっても、子育てファミリーにとっても、有難い事業になると思います。
- ・以前は、もっとこだはぐカードを持参してレッスンにご参加して頂ける方が多かったのですが、ここ最近めっきりご利用される方が減りました。新しい事業主の紹介の他に、以前から参加している事業主の紹介も定期的にブログなどに紹介して頂けると嬉しいです。
- ・利用できるお店やサービスの一覧表があると、もっとお勧めしやすいように思いました。

〔応援メッセージ〕

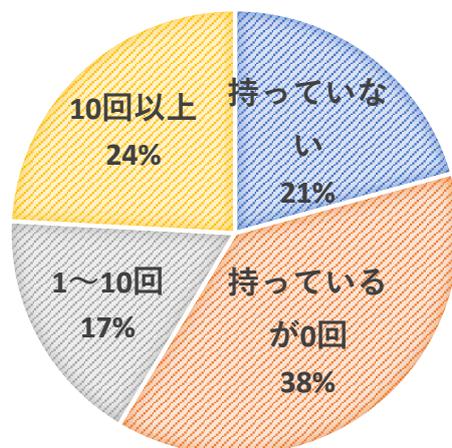
- ・子育て中のご夫婦の支えになっている事業と思います。これからも頑張ってください！
- ・とても価値ある取り組みでしたので、終わってしまうのが残念です。応援カード事業が終わっても、こだはぐさんの今後の発展を祈念しております。
- ・こだはぐの発展、とても素晴らしく思います！どうぞこれからも、この広がりが大きく続いていきますように。
- ・一年間、お疲れ様でした!! 74軒も増やされたなんて、こだはぐさんへの信頼と努力の賜物ですね。今後一層のご活躍をお祈りいたしております。

●利用者様(子育て世代)向け利用調査アンケート結果 (平成29年3月30日現在)

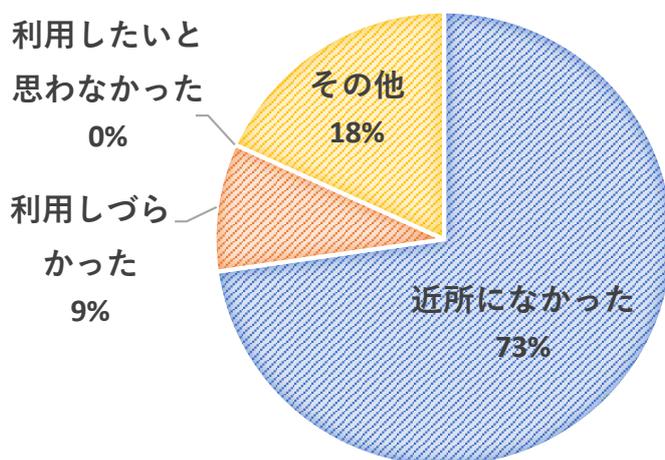
○利用調査期間：平成29年3月8日～3月30日

○回答数：29人

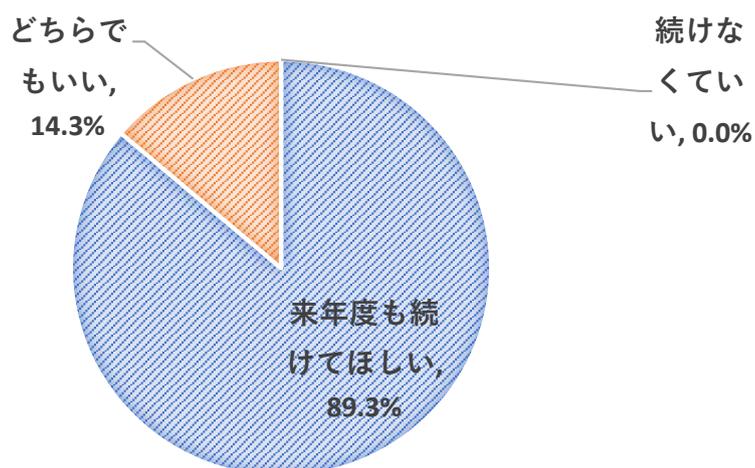
1. 「こだはぐ子育て応援カード」の利用回数を教えてください。



2. 上記で「カードを持っているが0回」とご回答いただいた方は、どんな理由で利用しませんでしたか？



3. 来年度の事業継続について



○ご感想

・今までスーパーばかり利用していたのが、近くの精肉店で少し安く買えることが分かってからは、そちらをよく利用させてもらいました。お店のかたも嫌な顔せずに対応してくださり、ありがたかったです。

・たくさんのお店で使うことができて、とてもありがたかったです。この町が子育てしやすい町だと実感しました。

・参加してくださるお店が増えて、使えるところが結構あったので楽しかったです。

・最初の頃は、子連れだと迷惑がかかりそうで、お店に入るのを躊躇う事が多かった。それが応援カードの存在を知り、小平市全体で子育てを応援してくれているように見え、入店できるようになった。私の気分転換にもなるし、何より応援されている心強さがあり、応援カードの存在は利用だけでなく、精神的にも支えてもらえた。

・サークル、お教室での特典が増えて嬉しい。ママ達がそのような場所で、たくさんの方と繋がり、いきいき楽しい時間を過ごしてほしいと思う。

・私はどうしてもカードを提示する時に、なんだか悪い気がしてしまいます。子どもを連れていて、常日頃いろんな場所で気を遣ったり、なんとなく肩身の狭い思いがあったりします。なので、歓迎してくださっているのに、子どもがいるというだけで特典はなんだか申し訳ない、と、ついつい遠慮がちになるのだと思います。でもカードを提示するとお店の方が笑顔で「ありがとうございます」と言ってくださり、ホッと、嬉しくなります。このように子育て世代を応援・歓迎してくださる場所や利用者が相互に増えていくと、地域の方々の子育て世代への見方、関わり方がより温かいものへと変わっていくのではないかと思います。同時に子育て世代も自然に地域に溶け込めると思います。応援カードから生まれる繋がりがたくさんあるので、今後も継続できるといいです！

・子連れでレジに並んだとき「こちらのカードお持ちですか？」とわざわざ声をかけてくださったお店では、とてもカードを出しやすく、有り難かったです。レジ付近に特典を書いたポスターが貼られている場合も出しやすく、遠慮なく使わせていただきました。

・子連れでのお出かけは、お騒がせしてしまうので、それだけで申し訳ない気持ちが出てしまい、凶々しい気がして出しづらかったり、遠慮がちになっていました。同じお店で、何度も利用させていただきました。そこで「大きくなったね」とか「お姉ちゃんに似てきたね」とか話しかけてもらったり、会話が弾んで、とても温かい気持ちになりました。応援してくださる団体やお店があるのは、とても嬉しいです。

・こだはぐさん達の、子育てママをとにかく応援したいという優しさと熱意はカードを見るだけですごく伝わり、その想いに温かい気持ちになったママはたくさんいると思います。ありがとうございます。

・こだはぐの応援カードを利用できるお店は、美味しい&優しい店員さんばかりです。

・お菓子を買ったときにカード提示でクッキーを頂き、とても嬉しかったです。

〔カードを持っているが使わなかった理由〕

・応援カードよりお店で独自に出しているクーポン券の方がお得に感じてしまうので、だいたいそちらを使ってしまう。

・使う気満々でいつもお財布には入れていたのですが、どこの店舗でサービスを受けられるのか、ということをしっかり把握しておらず、残念ながら使うことがありませんでした。地域にとっても子育て世代にとってもありがたいサービスだと思っていますので、これからも応援しております。よろしくお願いします。

〔ご要望・ご意見〕

・使えるお店がどこかよくわからないので、地図で出して頂けたりどんなサービスがあるか一覧で出して頂けたりすると、わかりやすく行きやすいかなと思います。

・使用可能な店舗を簡単に検索できるようなものがあたらうれしいです。業種や住所などで絞り込めるとか。

・ママさんもお得になって、お店側も来客者数が増えて、というようなもっとwin-winになるような事業になれば、もっと継続して行けるのではと感じました。

・実際に使った人たちの声がなかなか耳に入らなかったもので、そういったママの声がまめに更新されるサイトや、フリーペーパー的なものがあるとちょっと話題にも上がり、盛り上がったのではないかと感じました。

・協力店・団体が地域や名称からも探せると、より使いやすいのではないかと。できればマップにするのもわかりやすくよいのではないかと。

・たくさん協力されている店舗があるかと思いますがもっと店頭でもこだはぐカードの宣伝をしていただければすんなり利用できると思います。申し出るのが恥ずかしかったりもしますので。あと、協力店店舗一覧表とサービス内容の冊子やチラシがあると更に利用したくなるし助かります！

● F M西東京ラジオ番組「You Got チャンネルα」 平成28年8月11日放送

「子育て応援カード事業」と、協力店の「菓子屋イコナ」さんをご紹介いただきました。



● F M西東京ラジオ番組「You Got チャンネルα」 平成28年9月15日放送

協力店の「甘味café こすず」さんと、「菜の花プロジェクト」さんをご紹介いただきました。



● 「市民と企業が手を組めば」平成28年9月10日

「子育て応援カード事業」の事例発表をさせていただきました。

みこしプロジェクト第3弾

市民と企業が手を組めば

2016年 9月10日(土) 13:00~16:30 受付開始 12:30~
小平市福祉会館 4階 小ホール

長島 剛 多摩信用金庫 価値創造事業部 部長
「市民活動が地域社会を変える ~協働と広域連携がカギを握る~」

*** 基調講演 ***

*** 事例紹介 ***

- ① 小平はぐくみプロジェクト「こだはぐ」
(子育て応援カード)
ハッピーコンピューティング
(こだはぐ事業を応援)
- ② 相羽建設株式会社(あいばこ・つむじ)
(相羽建設が運営する暮らしを楽しむ場)

*** おしゃべりティータイム ***
(参加者でフリートーク)

参加費：無料
定員：80名
(当日会場へ先着順)

保育あり！ 要申し込み
(9月3日締切 問合せ先まで)

問合せ：みこしプロジェクト事務局
Tel: 090-1058-7263
E-mail: info@kodaira-shimnet.jp
Fax: 042-323-5450 (主催団体事務局)

主催：特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク
<http://kodaira-shimnet.jp/>
企画・運営：みこしプロジェクト第3弾実行委員会
<http://kodaira-shimnet.jp/mikoshijp.html>
後援：小平市 / 協賛：株式会社有楽製菓



みんながかつこ だいらのこれからのみんなかつこ

市民と企業が手を組めば

13:00 ~ 基調講演
長島 剛 多摩信用金庫 価値創造事業部 部長
「市民活動が地域社会を変える ~協働と広域連携がカギを握る~」
ながしま・つよし：1988年多摩中央信用金庫入庫。1997年「多摩らしい倶楽部」を立ち上げ。以後、多摩地域活性化のためのネットワーク作りに従事。2009年たましん事業支援センター長、2011年より現職。同年「課題解決プラットフォーム TAMA」の運営開始や「東京・多摩のおみやげプロジェクト」の立ち上げに関わる。2013年には「創業支援センター TAMA」を開設。多摩コミュニティビジネスネットワーク世話人を務めるほか、自治体との連携にも積極的に関わる。

14:00 ~ 事例紹介

- ① 「応援カードで子育て世代も元気に」
小平はぐくみプロジェクト「こだはぐ」
(小平発！産前産後ファミリーいきいきライフ応援)
橋本 真子 小平はぐくみプロジェクト代表
「事業にも活きる子育て支援」
ハッピーコンピューティング
(小平市のプログラミングスクール兼(パソコン教室)
山本 高次 ハッピーコンピューティング代表
- ② 「住みたい街が「住める街」に
~地域工務店による街を応援する場づくり~」
暮らしを楽しむ場「あいばこ」・地域とつながる場「つむじ」
相羽 健太郎 相羽建設株式会社 代表取締役

15:30 ~ おしゃべりティータイム (参加者でフリートーク)
ここまでのお話をきっかけに、会場の方々が5~6人のグループになっておしゃべりをする時間です。簡単な飲み物などを用意しています。

2016年 9月10日(土)
13:00~16:30 受付開始 12:30~
小平市福祉会館 4階 小ホール
西武多摩線「一橋学園駅」下車 徒歩8分・「青梅街道駅」下車 徒歩6分
参加費：無料 / 定員：80名 (当日会場へ先着順)

保育あり！ 要申し込み
(9月3日締切 問合せ先まで)

問合せ：みこしプロジェクト事務局
Tel: 090-1058-7263
E-mail: info@kodaira-shimnet.jp
Fax: 042-323-5450 (主催団体事務局)

みこしプロジェクトって？
NPO法人小平市民活動ネットワークが、市民活動支援を目的に2013年9月に立ち上げた3年連続の事業。

会場への行き方
西武多摩線「一橋学園駅」下車 徒歩8分
「青梅街道駅」下車 徒歩6分
* 駐車スペースは限りがあります。
* できるだけ公共交通機関をご利用ください。



「講座事業」と「子育て応援カード事業」をご紹介します。

社会とのつながりを広げる
小平はくくみプロジェクト代表
橋本直子さん

小平市に引っ越して来て17年、橋本直子さんの子育てには地域の子育て情報と悩みを共有できるママ友が必須です。そこで、2001年に作ったのが「子育てネットサークル、らいおんキッズ」です。

サークルのホームページを作り、メール・リンク・リストを開設したところ、あつと言間にサークルのメンバーは延べ300名ほどになったといえます。これは、慣れない土地で孤独な子育てをしているママが予想以上に多いことの現れでした。

「人の役に立ちたい」、「いいと思うことを人と共有したい」という気持ちが強くなった橋本さん、アロマセラピーで気持ちをリフレッシュする「保育つきアロマセラピー講座」を始めます。この講座は好評で、橋本さんのアロマセラピストになりました。息子さん小学校に入学すると同時に、セラピストの学校に通い始

め、次の年には資格を取り、自宅でアロマセラピーのサロンをオープンすることになりました。

2013年、橋本さんは「コミュニティ・ビジネス起業講座」を受講。次の大きな一歩を踏み出すことになりました。

講座で「地域の課題」として橋本さんが考えたのは「産後うつ」でした。現在、出産女性の10人に1人が産後うつ病を発症すると言われて

います。悩んでいるママ友から相談されたときに対応できなかった経験から、「産後サポート」や「母親の心とからだの健康」に役立つヨガ、セルフ・ケアなどの講座をプラスした産前産後のママの心と体を癒やす「はくくみプロジェクト」を考え、ブレインしたのです。すると、聞いていた人たちが共鳴して、講座の最終日に「小平はくくみプロジェクト」を立ち上げることになりました。

このプロジェクトでは、子育てをする母親が孤立しないように地域が応援する必要があると考え、「こども子育て応援カード」を作りました。このカードを持っている母親は、プロジェクトに協賛している団体や商店から特典を受けられ、地域とのつながりや地域のサポートを体験できるのです。現在、このカードは

1万8000枚、発行されています。「小平はくくみプロジェクト」では他に、毎月1回、鈴木公民館で「こどもカフェ」を開催し、子連れで母親が気軽に立ち寄り、ママ友と交流できる場を提供しています。6月に「父親学級」を開催しましたが、今後は、「孫育て講座」など粗父母が産前産後の母親をサポートするための知識を学ぶ講座を開催する予定です。

子育てのために仕事を辞め、専業主婦になった女性が社会とつながっていたいと思うのは普通のことです。子育てが一段落した次のステップで再就職という女性も数多くいます。橋本さんのように、日常生活からヒントを見つけ、社会とつながる活動を広げていくのも新しいライフスタイルではないでしょうか。橋本さんは、このプロジェクトのこれから目を輝かせていました。橋本さんへの期待もふくらみます。(N)



「講座事業」と「子育て応援カード事業」をご紹介します。

安心したい

産前産後ママの心と体を癒す
小平はくくみプロジェクト

心身ともにバランスの取れた産前産後のママを応援する。小平はくくみプロジェクト。コミュニティカフェや、去病対象の講座を開催。子育て世帯が市内の店舗特典を受けられる「子育て応援カード」を配布して支援している。

小平市鈴木公民館に乳幼児連れのママが集まってきた小平はくくみプロジェクト。だいたい1歳半の子どもを連れて参加。こどもカフェが毎月第3火曜日の14時半に開く。こどもカフェには、必要のないママが参加して、100円お茶代を付けて毎週お茶会を開催している。

ママはママが元気になる講座で、この日は児童文学作家・藤原美津子さんの「絵本紹介とわらべうた遊び」。藤原さんが絵本を語る時、お茶会も紹介する。藤原さんと一緒に、お茶会も楽しみたい。お茶会も楽しみたい。お茶会も楽しみたい。

ママを地域で応援。産後うつは、産後ホルモンのバランスが変化して起こる。産後うつは、産後ホルモンのバランスが変化して起こる。産後うつは、産後ホルモンのバランスが変化して起こる。

ランチで交流。入会費無料。ランチは、お茶会も楽しみたい。お茶会も楽しみたい。お茶会も楽しみたい。



子育てを楽しむママたち。産前産後ママの心と体を癒す。小平はくくみプロジェクト。子育て世帯が市内の店舗特典を受けられる「子育て応援カード」を配布して支援している。

小平はくくみプロジェクト事務局
電話 090-5526-2944
HP: <http://kodahug.com/>



●三井不動産「ファインコート武蔵小金井」サイト掲載 平成28年11月～

「講座事業」と「子育て応援カード事業」をご紹介します。

子育てママたちの心と体を癒し、 家族の絆と夢、そしてコミュニティを育む。

小平はぐくみプロジェクト(こだはぐ) 橋本さん(代表)



代表の橋本さん



本日のカフェメニューは浸し豆とジャコのおにぎりなどスイーツも入れて全3品でなんと400円!



こだはぐを支える代表の橋本さん(前列中央・右)と副代表の宮井さん(前列中央・左)を中心とした頼もしいメンバーさんたち

小平はぐくみプロジェクト(こだはぐ)とは。

「小平はぐくみプロジェクトの「はぐくみ」という言葉には、「育む」と抱擁を意味する「Hug」の2つの意味を込められているんです」と説明するのは、こだはぐ代表の橋本さん。「産前産後ママの心と体を癒したい。支えとなり、助け合える仕組みを作りたい」という想いから発足した市民活動団体だと言います。地域や家族が子育てに参加し、産後の女性を支えるための知識を学ぶ「講座開催事業」、産前・産後ママの心身のケアをテーマに、出入り自由なコミュニティカフェを運営する「広場事業(こだはぐカフェ)」、小平市に在住、在園している子育て世帯が市内の協賛団体・店舗において、割引などのサービス特典を受けられる「子育て応援カード発行事業」の3つの事業を中心に展開しています。

母親として、社会人として、 頼れるメンバーがバックアップ。

「産後うつで悩んでいるお母さんや、孤独な子育てに悩んでいるお母さんを減らしたいと思ったのが、こだはぐを始めるきっかけでした」と話す橋本さんは、2001年から10年ほど子育てサークルを主催。転勤の多い夫を持つお母さんが多かったため、近所に頼る親や親戚がおらず、孤独な子育てに悩むお母さんたちから、数多くの相談を受けたといいます。「そこで、何か自分でもできる支援活動はないだろうかと考え、NPO法人が主催する「コミュニティビジネス起業講座」を受講して、「産前産後プロジェクト」を発表。そこで知り合った仲間2人とこだはぐを立ち上げました」。現在メンバーは11人。それぞれの子育て経験から、役に立ちたいという熱い思いをもったママたちばかり。図書館の司書やヨガインストラクター、栄養士や保育士など、それぞれの知識や経験を活かして、地域の子育てママを応援しています。



こだはぐ子育て応援カードとは。

小平市に在住、在園している子育て世帯が、市内の協賛団体・店舗において、割引などのサービス特典を受けられるものです。小平市内に在住、在園の妊娠中～6歳(未就学児)までのお子さまのいるご家庭、約18,000世帯に配布しています。子育てしやすい街づくりとコミュニケーションが生まれるまちづくり。そして、子育て支援の温かいネットワークづくりを目的としており、街ぐるみで子育て世代を応援する雰囲気づくりを進めています。



★「こだはぐ子育て応援カード」の取得方法や利用方法についての詳細は、ホームページをご覧ください。URL <http://kodahug.com/ticket>

新春対談「地域ぐるみで子育て支援」の中で、「子育て応援カード事業」をご紹介します。



小平商工会だより 平成29年 新春号

発行：小平商工会 〒187-0032 東京都小平市小川町2-1268

商工会員のみならず、今年も元気に開催します！出会いと気づきの場「小平経済フォーラム」さまざまな業種の会員事業者が一堂に会して、さまざまなヒントになるグループワークなど行います。ふるってご参加ください。■日時：平成29年2月5日午後4時～ ■場所：西武信用金庫小平支店（一橋学園駅徒歩3分）

平成29年
新春対談

産前産後のママさんを応援する「小平はぐくみプロジェクト(通称:こだはぐ)」は、平成28年度の小平市いきいき協働事業として「こだはぐ子育て応援カード」事業が採択されたことをきっかけに、商工会との新たな出会いが生まれました。「地域ぐるみで子育て支援」を実現するためには？をテーマに心あたかな語りとなりました。

明日のために私たちにできること。未来のために地域ができることは。
地域ぐるみで子育て支援



子育て応援カードは、市内18000世帯に配布。協力団体、店舗数は、平成28年度に新たに70団体・店舗が新規登録し、市内全域約200カ所で利用できるようになりました。



小平商工会長 猪熊 勇一 氏

×
小平はぐくみプロジェクト 代表

橋本 直子 氏



猪熊 最近「こだはぐ」さんのお名前をよく耳にしますが、その内容については、若いお母さんたちと交流する機会も少なく理解が浅いのですが…

橋本 10年以上前に子育てサークルを発足した際、産後うつやご主人との不和、子育てのことなど相談を受けるようになり、何か助けになることが出来ないかと思索しておりまして、2013年にコミュニティビジネス起業講座を受講したのがきっかけで、産後支援事業「小平はぐくみプロジェクト」を発足することになりました。

猪熊 地域の課題をビジネスの手法で解決していくのがコミュニティビジネスですね。子育ての厳しい現実をまさに体感なさっていたことと思います。これからは、子育てに限らず市民主導型の起業は、期待される分野ですね。

橋本 はい、本当にいい学びのきっかけになりましたが、私たちの場合、ビジネスというよりボランティア感覚になっているのが現状です(苦笑)

猪熊 確かに深刻なテーマですから、これをビジネスにするのは難しそうですね。

橋本 産後うつリスクは誰にでもあり、10人に1人がかかると言われています。昨年、妊産婦の自殺率の調査報告も発表され、深刻な事態が明らかになりました。母子の絆を築く大切な時期であるはずなのに幼児虐待の問題も後を絶ちません。

猪熊 母親の愛情不足、家庭不和はさまざまな社会問題も起こすわけですから、未来の暗雲の種にもなってしまいます。これは、お母さんたちだけの問題にはいきません。

橋本 近くに頼れる親も親戚もなくて、孤独に子育てをがんばるお母さんがたくさんいます。それなのにベビーカーでお出かけすると邪魔者扱いされたり、子どもが泣き止まないで嫌な顔をされることがあります。そうなると出かけるのが億劫になって、買い物は週末に大型商業施設に出かけたり、ネットで買い物することが多くなるのではないかと思います。

猪熊 自分たちが、いわゆる子育てをしている年代や取り巻く環境が、今はまったく違います。家族構成も核家族化し、人とふれあう機会が極端に減っているように思いますが、ただ上辺だけで、時代だからって放っておいてはいけないことがたくさんあるようですね。

橋本 ネットは買い物もできて、子育ての情報も収集できて、とても便利ですが、ご存知の通り、子育てはマニュアル通りにはいきません。情報に頼りすぎて行き詰ってしまうお母さんもいらっしゃるようです。もし地元の高店街で顔の見えるお付き合いが生まれて、温かい言葉のやりとりがあれば、どんなに心がホッと安心するだろうと思います。

猪熊 それで、市の協働事業として「子育て応援カード」のアクションを起こしたわけですね。具体的にはどんなシステムだったのでしょうか。

橋本 協賛団体、店舗にて何かしらのサービス特典を

受けられる「カード」を発行しているのですが、これは、お母さんたちがお得に買い物や食事ができるという単純なものではなく、助け合う仕組みづくりになればと企画したもので、こだはぐの主要事業のひとつとして展開していました。

猪熊 こだはぐさんでは、割引特典の他に、ミルクのお湯を提供しますとか、おむつ交換できる場所があるといったサービスも含めて協賛を募っていらっしゃいましたね。

橋本 孤立しがちなお母さんたちと地域を結び応援カードを！と思って進めてきました。でも、私たち、こだはぐが市の協働事業として行えるのは半年度だけで、今後の動向をどうすべきか、検討しているところでもあります。

猪熊 今の時代に不可欠な仕組みにも思えますし、こういった事業は、全国的にも地方行政が主導して行っているところが多く、東京都でも本格的に導入すると聞きました。

橋本 各自治体で行っている子育て支援バスポート事業が、全国共通展開へと発展したことで拍車がかかり、東京都でも「子育て応援とうきょうバスポート」が誕生しました。

猪熊 なるほど地域ぐるみでの子育て支援は、全国共通のテーマでもあるんですね。やはり、若いお母さん、子どもたちが元気で明るい地域は、未来も明るい。希望があります。

橋本 東京都の事業に協賛したお店も、インターネットで検索対象になるので、こだはぐの応援カードに協賛してくださった事業の方々にも、どんどん参加してほしいと思っています。

猪熊 商工会としても、地域課題の解決は重要なことと考えています。橋本さんを通じて子育て支援のための新たなアイデアができたので、今後も、ぜひ情報を提供してください。商工会ネットワークで「地域ぐるみで子育て支援」の一端を担うことができれば幸いです。

橋本 心強いお言葉ありがとうございます。まちのそこかしこで、お母さんたち、子どもたちの笑顔が広がるように、努めてまいります。

猪熊 期待しています。頑張ってください。今日はありがとうございました。